

# 中学校全員給食を求める陳情 審査未了で廃案に

## 陳情の解釈めぐり「一致できない」

3月定例会に提出された「東村山の中学校でも小学校と同じような全員給食を求める陳情」は、3月9日の生活文教委員会で審査されました。

陳情の解釈をめぐり、自民・公明の委員は「陳情は全校自校方式での、全員給食を求めている」として、「全員給食」そのものに対する意見を明らかにすることを避けました。

委員間での意見が一致しないことを理由に「採決ができない」として、結論を出すことなく審査未了、廃案となりました。本来、陳情審査は最終的に陳情項目について判断するもので、市議会のルールとして周知のものです。

日本共産党市議団は、一刻も早く中学校でも全員給食を実施するために、市民のみなさんと力を合わせて取り組んできました。

今回、中学校の全員給食実施にたいして以前から否定的な姿勢をとってきた自民・公明の委員が、結論を出すことを避けたのは、全員給食を求める市民の声が大きく広がっているからです。

さらに大きく声を上げていけば、全員給食に踏み出す後押しになります。ご一緒に声をあげていきましょう。

(※委員会での議論の概要は裏面に掲載)

### 陳情文

東村山の中学校でも小学校と同じような全員給食を求める陳情

#### 【陳情趣旨】

東村山市立小学校の給食は、全校自校方式、温かくておいしい給食が提供され、子どもたちや保護者に大変喜ばれています。

コロナ禍の今、貧困と格差がますます広がり、まともな食事は給食だけという児童がいます。それでも「小学校の頃、みんなといっしょに、温かくおいしい給食を食べた!」「季節の野菜が、おいしかった!」「伝統的な食文化を、知ることが出来た」という声が寄せられています。

しかし、東村山市立中学校に進学しますと、全員給食は、ありません。生徒たちは、自宅から持ってきたお弁当か、業者の作ったお弁当か、どちらかを選んで食べています。

東村山市のように、全員に給食が提供されない自治体は、東京都全体の中で3市のみです。(東村山市、東久留米市、国分寺市)3市以外は、多摩地域も23区もすべて全員に給食が提供されています。

市民と対話するなかで、「どうして東村山の中学校は給食がないの?」「なぜ、ないの?」という声をよく聞きます。

心も体も大きく成長する中学生の時期は、バランスのいい栄養を必要とします。家庭の経済状況に左右されず、どの子にも豊かな成長発達を保障し、安心しておいしい給食が食べられるよう、全員給食を実施してください。

#### 【陳情項目】

1、東村山の中学校でも、小学校と同じような全員給食を実施すること。

# 陳情審査での意見 ～3月9日の生活文教委員会より～

## 日本共産党は



### 陳情の解釈について

陳情には「全く同じもの」とは書いていないので、自校方式を絶対に求めているものではない。

今すぐやれとは書いていないで、市議会として後押しをしていきたい。

### 全員給食について

最終的には全校自校方式を目指して欲しい。市議団のアンケートでは「あたたかい給食を食べられるように」には賛成77%。

自由記述には、発注漏れや手間が掛かっていること、中学校の給食が選択制と知らなくて驚いた、知っていたら引っ越してこなかったという意見も出ている。

学校で食べられる子と食べられない子がいるということが一番大きな問題。

### スクールランチのアンケートについて

アンケートでは、「今のままが良い」という回答が圧倒的であるのは事実だが、「小学校と同じような給食は」や「あたたかい給食について検討することは」という設問は一切このアンケートにはない。アンケートはちゃんと見たほう

がいい。回答がどうであれ、お昼を食べて無い子がいる。まずは「とにかく学校行けば給食を食べられる」という体制を整えることが一番大事。

## 自民・公明 の委員

「東村山の中学校でも小学校と同じように全員給食」は全校自校方式を考えて陳情しきっていると捉えた。

外注方式が入った頃、保護者は「お弁当作らずにすんだ」と喜んだ。発注率が低い時期もあった。今は「満足している」が多くなっている。

スクールランチのアンケートの結果

をどう捉えるか。22年度は生徒で九割、保護者の六割が現在の選択性が良いという回答。

アンケート調査用紙を見てないのでわからないが、単年度ではなくて例年こういう結果が出ることは、教育委員会としても選択制を見定める上では重要な数字。

絶対中学校においても給食を支給すべき。

市民からの意見で「子育てするなら東村山というのであればどれだけ特徴のあるサービスをやっているのか」とあった。中学校で給食を出してないのは当市を含めて本当にわず

か。

アンケートも改善されたものの、「小学校と同じような」という項目はない。質問の順番も「今のままがいい」が選びやすい内容だった。現場や子どもたち、保護者の意見をさらに詳しく知るように努めていくべき。

## その他の 委員